

あいさつ

全国ろう学校PTA連合会会長 水上 豊

このたび、全国ろう学校PTA連合会会長を拝命いたしました水上豊でございます。歴史ある本連合会の舵取りを担わせていただくことに、大きな責任とともに、子どもたちの未来のために尽くす機会をいただいたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。まずは歴代の会長をはじめ、役員の皆さま、そして全国の保護者の皆さまが積み重ねてこられたご尽力に、心より敬意を表します。

私自身、ろう学校に子を通わせる一人の保護者として、日々の学校生活のなかで多くの支えをいただいてまいりました。先生方や地域の方々、そして同じ立場の保護者の皆さまとのつながりが、子どもと私たち家族にとって大きな力となっています。その経験を胸に、今後は会長として、全国の仲間と共に、子どもたちの笑顔と成長を守り、より良い教育環境の実現に努めてまいりたいと考えております。

近年、社会全体は大きな転換期を迎えています。少子化の進行により、ろう学校に学ぶ子どもの数は減少しつつありますが、その一方でICTや補聴機器の進歩、インクルーシブ教育の広がりなど、子どもたちを支える仕組みには新しい可能性が生まれています。こうした変化の中で、私たちPTAが果たすべき役割はますます重要になっています。学校と家庭が互いに手を取り合い、地域とつながり、社会に理解を広げていくことが求められています。

そして本年、日本では初めてとなる「デフリンピック東京大会」が開催されます。聴覚に障害のある世界中のアスリートが一堂に会し、力を尽くして競い合うこの大会は、子どもたちに大きな夢と希望を与えてくれるでしょう。

子どもたちが自らの目で試合を観戦したり、選手たちの活躍を身近に感じたりできる貴重な機会となります。これは単なるスポーツの祭典に止まらず、「聞こえに障害のある人々の力と魅力を社会が理解し、共生社会を一層前進させるための歴史的契機」であると考えます。挑戦する姿、仲間と励まし合う姿、そして自分の可能性を信じて輝く姿は、私たちが子どもたちに伝えたい「生きる力」そのものであり、この大会を通じて未来への勇気を得ることを願っています。

会長として迎える初年度、私は次の三つを大切にしていきたいと思います。

第一に、「子どもを真ん中に考えること」。すべての活動の中心に子どもたちを置き、その笑顔と成長軸に考えていきたいと思います。

第二に、「仲間とのつながり」。同じ立場の保護者同士が支え合い、悩みや喜びを共有できるつながりは、私たちにとって大きな力となります。

第三に、「学び合う姿勢」。時代が変わり、子どもたちの環境も変化して行く中で、私たち大人も学び続けることが必要です。互いに情報交換し、知恵を出し合うことで、より良い支援の形を探っていきたいと考えています。

これらを胸に、皆さまと共に歩みを進め、子どもたちが誇りを持って未来を生きていける社会づくりに力を尽くしていきたいと思います。

結びにあたり、全国の会員の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、今後の活動へのご理解とご協力をお願い致します。